

as

animal specialist

アニマルスペシャリストのためのワーク・マガジン

A Monthly Magazine No.264 January 2012



好評連載

現場で正確に動ける
臨床動物看護技術
ポジティブに向き合おう
クレーム対応の
マインド&スキル
ほか

隔月企画

新・今さら聞けないシリーズ
動物福祉ってなんだろう?

特集

動物看護師が活躍する
新たなステージ

「往診」と 「訪問診療」の 現場から

2012

1



飼い主さんがよろこぶ! 手づくり パンフレット・ポスターをつくらう

さくら動物病院（長野県） さくら通信

眼科の「ワンチャンス」

先日、東京で開催された国際眼科セミナーに参加してきました。眼科は当院では力の入っている分野の一つで、大変奥の深い科目なのです。動物は人間のように「眼が痛い」とか「眼がかすむ」と細かく伝えてくれません。

症状：「眼が細い」「目やにが多い」「眼が赤い」「ぶつかる」「涙が多い」

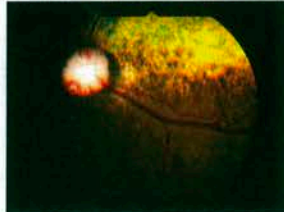
などの症状が出てから初めて病院に来ることがほとんどです。しかも緑内障のように高眼圧になると「元気がない、怒りっぽい、食欲がない」等の漠然とした症状から始まり、オーナーが気付く「目が大きくなった」という症状は、いわゆる「牛眼」といって完全に失明して選択肢は、「眼球摘出」か眼球を温存するのであれば「シリコン義眼挿入術」しかありません。つまり眼科疾患は誰もが気付く症状の時はほとんどの場合末期的な状態です。私たち動物病院はちょっとした症状（眼が細い、目やに、眼が赤い）で来院した時が最初で最後の「ワンチャンス」、診断名という結果を出さなければならぬのです。ちなみに緑内障の初期症状は眼が少し赤い結膜炎様の症状しかありません。でもここで診断しないと失明してしまいます。

以上の様に大変シビアな分野なので、現在私は月に最低でも1~2回自らの知識の確認、更新のため眼科セミナーに通い、スタッフの伝達セミナーをおこなっています。

なぜなら、「ワンチャンス」逃さないように。



《白内障を起こしている眼》



《正常な眼底像(眼の奥の網膜の部分)》
院長

編集後記

小踏でもようやく桜が咲いて、春らしさを感じるようになってきました♪
桜は私の一番好きな花ですが、すぐに散ってしまうのが惜しいところもあり、またそこが桜の優しさを実感できる良いところもあるのかな…と感じます。

今年度、さくら動物病院は桜の木と4名の新人を新しく迎え、いよいよ10年目に突入します。今後もたくさんの方の幸せの一助になるべく、日々の診療や動物達のケアを行ってまいりますので、よろしくお祈り致します(*^_^*)

獣医師 山浦

さくら通信

平成23年 5月発行
《発行所》
さくら動物病院
新聞編集委員
山浦 浩

第11号

フィラリア症予防をしよう

暖かい日が続き散歩に行く機会も増えるこの季節、過ごしやすいたはいえ『蚊』の発生が気になるかと思えます。今回はその蚊が媒介するフィラリア症についてご紹介します。

＜フィラリア症の基本Q&A＞ 心臓に寄生したフィラリア成虫→



Q: どんな病気なの?

A: 蚊が媒介する寄生虫病です。感染犬の血を吸った蚊に刺されることで感染し、多数の成虫が心臓に寄生すると様々な症状が出ます。重度の感染の場合は死にいたる怖い病気です。

□咳が出る □元気がない □呼吸が苦しい □食欲がない □お腹が膨らむ □尿が赤い

Q: 予防薬(駆虫薬)はいつ飲むの?

A: 春から秋(5月末~11月末)にかけて毎月1回薬を飲めばほぼ100%予防できます。では蚊の発生時期と投薬時期に1ヶ月のずれがあるのはなぜでしょうか。フィラリアは体内で脱皮をしながら成長するのですが、この薬は感染して「1ヶ月後の幼虫」でないと十分に駆除できないのです。よって蚊がいなくなっても必ず1ヶ月後に薬を飲んで駆除する必要があります。



フィラリアの子虫

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
蚊の発生期間								
投薬期間(月1回)								

※投薬の前に必ずフィラリアが感染していないかの検査を受けましょう。万が一感染している場合に駆虫薬を飲むとショックなどの副作用を起こす場合があります。

Q: フィラリアに感染するのはただけなの?

A: いいえ。猫やフェレットなどにも感染します。感染した場合に無症状のことが多いですが突然死する場合があります。診断が難しいため予防が大切です。

獣医師 内藤

お知らせ

イベルメック登場!

~おいしくなりました~
フィラリア症予防薬の「カルドメック」に変わるお薬です。成分や効能はそのままで。

詳しくはスタッフへ



《お知らせコーナー》

5月の休診日

10, 17, 22, 24, 31日

・午後休診日

8, 12, 15, 19, 26, 29日

・院長不在日

11, 13, 15, 16, 21, 25, 29日

14日(amのみ)

ホームページ <http://www.sakura-komoro.jp>

携帯でもさくら動物病院のサイトに

アクセスしていただけるようになりました!

詳しくはこちら→

大好評のいた

います!



ここが POINT

POINT ①

文字だけにならないように気を付けながら、写真やイラストを多く取り入れてつくっています。また、新人紹介や院内で季節ごとに行ったことを「さくら通信」を通して伝えています。これにより、病院でのさまざまな出来事を飼い主さんに伝えることができます。

POINT ②

作成者を固定せず、スタッフみんなで作っています。それにより、スタッフ一人ひとりが飼い主さんに伝えたいことを伝えられる場となっています。

POINT ③

季節ごとの内容や犬種別の特徴、なりやすい病気など、飼い主さんの立場に立って、今飼い主さんがほしいテーマは何かを考えながらつくっています。

POINT ④

病院で行っている飼い主さん向けのセミナー「さくらスクール」などを行ったときには号外も出しており、セミナーに参加した飼い主さんの感想も載せるようにしています。セミナーに参加できなかった飼い主さんへ、セミナーの様子や内容などを伝える意味もあります。

工夫いっぱいパンフレットや
ポスターなどを紹介！
つくり方のコツやポイントを
教えちゃいます!!



病院の 動物たち



●作成者
さくら動物病院（長野県）
スタッフの皆さん

→ 1面から続く。
おはらに詳しくみてみましょう。「発熱病」の発生には理由があり、そのほとんどはウイルスによるものです。これは病原菌の侵入が原因です。その病原菌はウイルスや細菌、真菌の侵入によるもので、動物の体質や環境によって異なります。また、動物も犬や猫と違って、発熱の原因がウイルスや細菌、真菌の侵入によるものだけでなく、免疫系の異常によるものもあります。発熱の原因は、動物の体質や環境によって異なります。発熱の原因は、動物の体質や環境によって異なります。発熱の原因は、動物の体質や環境によって異なります。

さくら通信 第10号

3
気に入ってください。おしこの仕方・・・
こんにちは！ 読者さん！ さくら通信は、動物の健康や病気に関する情報を提供するために発行されています。今回は「おしこの仕方」についてお話しします。おしこの方法は、動物の健康を維持するために非常に重要な役割を果たしています。おしこの方法は、動物の健康を維持するために非常に重要な役割を果たしています。おしこの方法は、動物の健康を維持するために非常に重要な役割を果たしています。

新しい仲間が増えました

みなさん、よろしくねっ！
各前は「まつ・ぽんく」です。
種別：トイプードル
誕生日：2010年7月23日
性別：♂
肝臓病で治療中。将来はA A A（訪問活動）で活躍する予定です。
最近「お産り」ができるようになりました！

さくらスクール 日時：2011年2月27日

4
第5回さくらスクールアンケート集計結果！
今回のアンケート結果は、多くの皆様からご意見をいただきました。アンケート結果は、動物の健康や病気に関する情報を提供するために発行されています。今回は「おしこの仕方」についてお話しします。おしこの方法は、動物の健康を維持するために非常に重要な役割を果たしています。おしこの方法は、動物の健康を維持するために非常に重要な役割を果たしています。おしこの方法は、動物の健康を維持するために非常に重要な役割を果たしています。

第5回セミナー さくらスクール

第5回セミナーは、動物の健康や病気に関する情報を提供するために発行されています。今回は「おしこの仕方」についてお話しします。おしこの方法は、動物の健康を維持するために非常に重要な役割を果たしています。おしこの方法は、動物の健康を維持するために非常に重要な役割を果たしています。おしこの方法は、動物の健康を維持するために非常に重要な役割を果たしています。

さくら通信
（毎月）
発行元：さくら動物病院
発行日：毎月10日
発行部数：100部
発行地域：長野県
発行対象：動物の健康や病気に関する情報を提供するために発行されています。

Q1 つくったきっかけは？

病院であった出来事や病院の様子、飼い主さんに知っていただきたい病気などについて、伝えられるものを何かつくりたいと考えたのが、このさくら通信でした。さくら通信のおかげで飼い主さんとの距離が縮まり、信頼関係がよりいっそう深くなったと感じています。

Q2 つくってみての感想は？

評判がよく、「病気についてすごく勉強になる！」などのありがたい言葉もいただけ、こんなにも反響が大きいものなのかとビックリしました。また、さくら通信を出す際、私たち自身も病気などについて調べて、飼い主さんにわかりやすくまとめ、伝えるようにしているので、改めて自分自身の勉強にもなっています。伝えたいことをまとめて記事にすることは、なかなか大変で難しいことですが、飼い主さんに喜んでもらえたり感想をいただけると、とてもうれしいです。

第5回さくらスクールアンケート集計結果！
今回のアンケート結果は、多くの皆様からご意見をいただきました。アンケート結果は、動物の健康や病気に関する情報を提供するために発行されています。今回は「おしこの仕方」についてお話しします。おしこの方法は、動物の健康を維持するために非常に重要な役割を果たしています。おしこの方法は、動物の健康を維持するために非常に重要な役割を果たしています。おしこの方法は、動物の健康を維持するために非常に重要な役割を果たしています。

第5回セミナー さくらスクール
第5回セミナーは、動物の健康や病気に関する情報を提供するために発行されています。今回は「おしこの仕方」についてお話しします。おしこの方法は、動物の健康を維持するために非常に重要な役割を果たしています。おしこの方法は、動物の健康を維持するために非常に重要な役割を果たしています。おしこの方法は、動物の健康を維持するために非常に重要な役割を果たしています。

Q3 飼い主さんからの反応はどうだった？

飼い主さんからは「毎回いろいろな記事を書いてくれるので楽しみ！」「病院のことや病気のことがとてもよくわかるので、安心の一言！」など、うれしい言葉をいただいています。さくら通信を楽しみにしてくださっている飼い主さんや、記事に関して反応してくれたりご意見をいただく飼い主さんもいるので、今ではさくら通信は、病院と飼い主さんの信頼関係構築に欠かせないものだと思います。飼い主さんのために、もっと病気のことをわかりやすくお伝えし、今まで以上に深い信頼関係を築けるように、私たち自身ももっと知識をつけ、お伝えしていきたいと思っています。